

令和5年度 議会モニター意見（1月分）

	意見・提言・感想等	回 答
1	<p>黒保根の花見ヶ原森林公園や利平茶屋森林公園は、山の中に有り、交通の便も悪いので、活用が少なくもったいないと思いました。</p> <p>黒保根学園が出来て遠くからも家族で見学に来ていました。良かったです。</p> <p>元黒保根中学校の活用については、何か有効利用してほしいです。</p> <p>学校給食の無償化はなってほしいと思います。</p>	<p>ご意見いただき、ありがとうございます。</p> <p>参考にさせていただきます。</p>
2	<p>一般質問を視聴して</p> <p>○発言者の要約をフリップのような感じに編集して、動画に入れる。</p> <p>→耳が不自由な方でも議会の様子が分かるようになると思う。</p> <p>または、発言者と発言者の間に、前の発言者の要約を指し込む。</p> <p>○1人1人の動画が分かれていることから、市内の中学生や高校生を対象に、自分が興味をもった1人を選んでもらう。そして、その動画を視聴してもらい、自分の意見を用紙に記入して提出してもらう。そのようにすれば、若者の意見を取り入れることができ、議会にふれることにより議会離れを抑止できるとともに、桐生市のことについて考えてもらえる機会になると考える。</p>	<p>ご意見いただき、ありがとうございます。</p> <p>2つ目のご意見については、中学生や高校生に対しての主権者教育としては、出前講座があります。授業の1枠をいただき講義やワークショップを行うものですが、いただいたご意見はそのようなタイミングで活用できるかもしれません。検討して参ります。</p>
3	<p>12月20日、本会議（傍聴）</p> <p><市長から生活保護給付での謝罪></p> <p>「給付の実態、事実を把握していなかった。市民に寄り添っていなかった。福祉事務所の組織の問題、規範意識の低下、不適切な対応で信頼を損ねた。八項目の改善を実行して改善する」との謝罪表明がありました。改善の実行に期待しますが、同時に内部の調査と対策では、真の原因を捉えしっかりとした対策となっているか疑問を持ちました。完全な第三者、例えば外部弁護士とか見識ある市民などによって取り組まれるべきと思いました。私はこのことを朝日新聞の全国版社会面の記事で知りました。TVでも全国に報道された桐生の恥ともいえる大きな問題です。対象の方々にとっては死活問題であったとも思います。この状況にあって市民は勿論のこと国民が納得する対応と発信が必要と思います。</p> <p><議案第71号 第六次総合計画後期計画></p>	<p>ご意見いただき、ありがとうございます。</p> <p>各議員また市当局に伝えさせていただきます。</p>

基本計画を立案した令和2年とは今の状況が大きく変化しています。コロナ、物価上昇、円安、戦争があり、その影響で市民生活に大きな影響が出てほとんど例外なく苦しくなっています。それをスルーして計画に変更がないとはどういうことなのか、不思議に思い、そんな議会に不信感を持ちました。当初の立案を見直し現状を踏まえ、しっかりとした対策を盛り込んだ後期計画であるべきと思いました。

また、後期計画には市長の公約を網羅していないものがあるとの指摘がありました。少なくとも市議会は市長の公約を支え、それに力を与え実行するものであるべきです。計画に反映されていないものであるべきです。計画に反映されていないものはなにか、市政実行する際にどのようにそれを補っていくのかを早い機会にお示しいただきたいと思います。私としては図書館の改修が気になりました。

<議案第72、73、74号 報酬見直し>

人事院勧告に従って見直すということでした。しかし桐生市職員の給料が全国平均より200万円も高いという発言があり驚きました。事実なら報酬減があっても良いように思いました。一般職に準じ特別職も横並びで見直すということでしたが、少なくとも特別職については市民生活の現状を踏まえ再考が必要と思いました。市民に寄り添っていない感じがします。また、この件で会派ではなく個人として反対された議員が声を詰まらせる場面がありましたが、市議会のなかに何かしらの圧力があるように思いました。

<議案第83、84号 建物請負計画>

既に遊休施設が多く存在しています。先ずその活用を考えるべきです。日本全体が八がけ社会となり人口減となる状況です。大きな費用が発生する建築建設や改修は控えスモールマネジメントに徹すべきと思います。また、両案の採決の時、退席された議員の方がいましたが個人の意思表示と観え能動的な感じがしました。

<追加提出補正予算 タクシー事業者支援事業について>

支援の内容が定かではありませんがガソリン代高騰に対しての直接の燃料費補填であるのならご一考願いたい。ガソリン価格は高騰継続が予測されます。脱ガソリン経営ができるようにEVの導入、充電環境の整備など効果が継続され育っていくような支援とすることが必要と思います。

<第7号議案 地方財線の充実強化意見書>

全国どこにも通じる内容だと思います。なぜあたかも全国の市議会を代表するような意見書が桐生からも国に提出されるのか疑問に思いました。もっと桐生が置かれている立ち位置からの桐生ならではの内容での意見発信があるべきと思いました。

<12月21日（傍聴）、22日（配信） 一般質問について>

おくやみコーナー：令和6年7月創設されるとの報告でした。安堵し実現に期待します。

エアコン設置：検討していくとの回答でした。時間が掛かり過ぎです。臨場感が欠けています。能登のような災害が発生したら大変なことになります。急務展開を是非お願いしたい。

意義ある学校給食の無償化：地元の産物を活用し自給率を高める無償化が令和7年度からの実施に努力するとの発言。やっとかと思いつながり良いことだと思いました。必ず実行されることに期待します。

地球温暖化：市に対して質問された意図が理解できませんでした。

不適切な生活保護給付：市からの回答が解り難い。事実を真綿でくるんで解らなくし、真の原因追求と対策に至らせたくないのではないかという印象を持ちました。

未来を生き抜く力を育てるまちづくり：市が回答したインセンティブは誘導区域の生活環境を整えることが主体としたものでした。それらは当たり前と思いました。やはり居住誘導区域へのインセンティブとして、それまで住んでいた場所を離れ動きたくないような誘導策が不足していると思います。

ゆきとどいた教育の実現：物価高騰は他の施策で補っている、受給者への調査では奨学金について不足と感じている方が少ない。それを理由に29年前に設定された奨学金をそのまま据え置くという教育長の答弁でした。心もとなく思いました。給付者への状況確認の方法に疑問を持ちました。給付されている方々の意見を寄り添って確認すべきだと思います。発言された教育長が教育者としての本文からも市民からも離れていて熱意が感じられませんでした。

議会の運営、進行はスムーズでしたが、議員の質問に対して市ご担当者からの回答の弱さを感じました。市職員の方々は、現状の業務を正として今の仕事の枠を守ることが基本にあるように思いました。もっと踏み込んでこだわりを持って業務に取り組んでいただきたいという印象を持ちました。

令和5年度 議会モニター意見 (1月分)

4	<p>議員のひとりひとりが緊張感を持って議会に参加していることがとても良いと思いました。</p> <p>全ての議案と請願に丁寧に対応していて、市民の声をしっかりと耳を傾け、反映してくださっていることが分かり、嬉しく思った。</p> <p>これからもよろしくお願いします。</p>	<p>ご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>今後ともご協力をお願いいたします。</p>
5	<p><インターネット中継について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ YouTubeで「桐生市議会」と検索しても最新の中継が出てこない →身近でないため、興味があっても見られない ・ 議案の概要、質問内容などをテロップで動画内に表示した方がよい <p><質問等について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皆、原稿を読んでいるため、早口であり、原稿しか見ていない。 	<p>ご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>2つのご意見とも、議会の運営に関することでもありますので、改善できるよう取り組んで参ります。</p>
6	<p>きりゅう市議会だより(NO280)</p> <p>傍聴させて頂いた内容がまとめられていて解り易いと思いました。</p> <p>この中で一般質問にありました生活保護問題について議員からの問に対して、市からの答に「第三者委員会での検証をふまえて適切に対応を考える」とありますが、朝日新聞(2/1付)群馬版に1月中に立ち上げるとした第三者委員会が間に合わなかったという記事に対応の甘さを強く感じました。記事にもありますが、ほとぼりが冷めるのを待っているとしか思えません。なし崩しにしようとしているのでしょうか。対応に疑問を持ちます。</p> <p>市議会として、この点を強く諫めて頂きたいと思いました。</p>	<p>ご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>生活保護業務での不適切な対応については、議会としても重く受け止めております、今後とも厳しく監視していく所存ではありますが、桐生市生活保護業務の適正化に関する第三者委員会設置要綱が設置されており、その中で、客観的かつ公正な第三者の立場から検証を行い、その原因究明と再発防止の徹底を図る、ということですので、議会としましては、まずは第三者委員会での調査、再発防止策を注視して参ります。</p>

7	<p>本会議(11月29日)での議論の中で、議案第72号についての質疑応答の感想を以下に書かせていただきます。期手手当の引き上げについて、各所にどのように説明しているのか、また、他の自治体も同じことを行っているが、それぞれの自治体の実情は異なっているため、そこについてどう考えているか、どう考えていくべきか質問があり、それにきちんと対応されており、きちんと理由をもって順序をたどって進められていたのだと分かりました。</p> <p>続いて、議案第76号、桐生市交通ビジョンの策定について、いくつか意見を以下に書かせていただきます。</p> <p>久保田議員の質疑にもありました、コロナ禍の前後で交通機関の利用者数はどのように変化したかに対して、おりひめバスの利用者が、平成30年度は38万人、令和4年度では24万人と、平成30年度に比べて-65%だったとのことですが、一人の群馬大学生からして、コロナの影響以前の問題で、バスの本数の少なさ、利便性について欠けているのではないかと感じております。毎日通う大学に、多くの学生は自車で向かっていることが現状です。市民の意見もとり入れた市策ではあると思いますが、若者(学生など)の意見も是非とり入れていただくと、市内の交通の便がよくなるのではないかと思います。</p>	<p>ご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>参考にさせていただきます。</p>
---	---	--